

平成20年度 第1回沖縄21世紀ビジョン懇話会要旨

日時：平成20年5月26日(月)

15:30～17:30

場所：県庁6階第1会議室

1. 課題設定の重要性

○ビジョンを策定するにあたり、沖縄が今直面している課題、あるいは将来直面するであろう課題について議論し、その上で、理念、目標、施策を整理していくことが重要。

○課題を設定する際に、現状認識、問題発見能力が重要であり、生活者の視点でビジョンを策定していくことが必要。

2. ビジョンと政策との関係

○ビジョンの理念に基づき、政策を体系付け、それに応じた予算編成や意思決定を行い、当該施策を評価、検証していくことが重要。

3. 情報収集と分析能力の必要性

○沖縄のような小規模な離島県にとって、情報が極めて重要。東京との情報ギャップがない状況の中から、オリジナルの政策が出てくる。

○沖縄は情報収集・分析能力を高め、インテリジェンスと戦略性を常に持って提案をしていく必要がある。

4. 総合産業としての観光

○観光を総合産業として部局横断的・官民協働で取り組む必要がある。観光客数を増やすだけでなく、財政を含めた地域循環の仕組みが大事。

○観光は、1次産業、2次産業、3次産業をかけた6次産業という意見があり、連携によって生まれる相乗効果が重要。

5. 地域の良さに対する認識の重要性

○自分の地域のことを知らないと、沖縄の良さを認識できない。他の地域との違いもわからない。視点を郷土に置くほど、視野は世界に広がっていく。